|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 評価表の項目 | 配点 | 評価の視点 | 評価点 | 備考 |
| 1. 患者に自分の立場を説明している | 5 | 自分の立場を明確に説明し、診療の承諾を得ているか  ・あいさつ、職種、氏名を告げているか　1点  ・自分が診療することについてわかりやすく説明し患者の承諾を得ているか　4点 |  |  |
| 2. 初期観察 | 5 | 患者の第一印象をとらえ、主な訴えを聴取しているか  ・患者の歩き方、姿勢、顔色、身なりを観察している　3点  ・患者から主な訴えを聴取している　2点 |  |  |
| 3. 即時評価と即時蘇生 | 8 | 患者の状態を判断（安定・不安定）し、患者の状態に応じた対応（診療場所を選定）をしているか  ・緊急性があると判断し、スタッフに判断を伝え患者の状態を共有している　4点  ・適切な診療場所（診察室、救急処置室、感染症の隔離など）に移動または移動の指示をしている　4点 |  |  |
| 4. 問診および身体診察 | 12 | （医師による）鑑別診断のための問診および身体診察を行っているか  ・主訴に関連した問診を（ OPQRSTを用いて）行っている　5点  ・SAMPLERの聴取を行っている　2点  ・胸部および腹部の身体診察を適切な技術を用いて実施しているか　5点 |  |  |
| 5.検査および処置の選択（医師の指示のもと） | 22 | 鑑別（心筋梗塞）するための検査や処置の判断を行っているか  ・患者の状態に応じた検査、処置の選択または実施をしている  　心電図モニター　2点  十二誘導心電図　2点  酸素投与　2点  酸素飽和度モニター　2点  血液検査（生化学、血算、心筋マーカー、トロポニン、凝固系）　2点  胸部レントゲン撮影　2点  除細動準備　3点  経皮ペーシングの準備　3点  血圧上下肢差　2点  ・行った検査と処置の結果を確認している　2点 |  |  |
| 6. 報告 | 8 | 簡潔に （SBARを用いて）患者の状態を医師に報告しているか  ・SBARを用いて心筋梗塞について報告をしている  S：状況（Situation) 　1点  B：背景や経過（Background) 　1点  A：判断や考え（Assessment) 　1点  R：提案や依頼（Recommendation) 　1点  ・緊急性を考慮した報告をしている　4点 |  |  |
| 7. 患者への説明 | 8 | 患者に現在の状態と今後について説明  ・患者に現在の状態について説明している　2点  ・処置（検査や投薬）の目的を説明している　4点  ・今後の予定について説明している　2点 |  |  |
| 8. 報告書の記載 | 32 | 問診や身体診察の結果や検査の結果が記入され、推論のプロセスがわかる報告書となっているか  ・初期観察の評価が記載されている　2点  ・一次評価の内容が記載されている（安定／不安定の判断）　2点  ・バイタルサインが記載されている　2点  ・詳細な評価が記載されている（SAMPLER、OPQRST）　2点  ・アセスメントプロセスの根拠が記載されている  胸部レントゲンの異常（縦隔の拡大、透過性の左右差、胸水の有無）　2点  胸部の聴診所見（左右差）　2点  腹部の診察結果（異常所見の有無）　2点  除外のための血液検査結果　2点  ・適切なアセスメント結果が書かれている　4点  ・アセスメント結果の根拠が書かれている  心電図変化　4点  血液データ　4点  リスクファクター　2点  ・今後の展開と必要な対応　2点 |  |  |
| 総合点 | 100 |  |  |  |

評価日2014年　　月　　日　　／　評価者氏名